

自他を知る

少人数の活動の中で他者の考えや思いを知り、人と関わる楽しさを実感し、他者と協力して何かをやり遂げる経験を積み重ねていきます。

活動を通して協調性やコミュニケーション力、情操の育成、体力をつけることを目指します。

和太鼓練習



風船バレーボール



他者の行動や考えがわかれば、協力していくことができます。

集団ゲーム、ソーシャルスキルトレーニングの学習



②上手に話を聞いてみよう。(実践)
目的
友人編を作ります。聞き役と、評価役に分れます。明確な話が話します。話し終わったあと、自己評価と他者評価を行います。



病弱教育部

〈研究テーマ〉

自立と社会参加に向けた「自立活動」

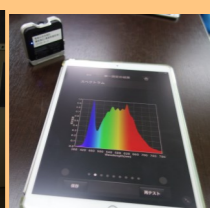
～主体的・対話的で深い学びの視点から～

〈目指す児童生徒像〉

豊かな心を持ち 人との関わりを広げ
自分らしく活動する児童生徒

眠るってどういうこと？

遮光度を調べる実験を通して光と体の関係について学びました。



京都府「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」
「アクテウォッチを使って自分の睡眠の状態を知る取組」
京都大学大学院医学研究科 若村智子 教授

睡眠のメカニズムを知り、自分の脈拍、体温、睡眠時間の計測を通して自分の生活を見直し、生活リズムを整えることにつなげていきます。



アクテウォッチを使って自分の睡眠の状態を測定します。その後、若村先生から個別にデータ分析と解説をしていただきました。



生活リズムを整える

「心の土台」をはぐくむ自己採点式調査用紙KJQを用いて、自己肯定感や自尊感情などの「生きる力」を引き出すに取り組んでいます。



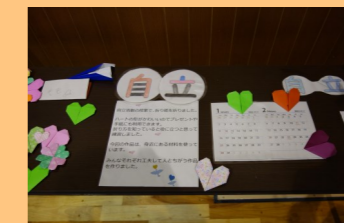
病識・こころとからだ

自分の病気のことについて知り、自分と病気との付き合い方を学んだり、自分がどのような考え方や行動をしていくとよいのかを考えたりしてストレスマネジメントにつなげます。また自立活動では自分の好きな活動することで心の安定を図り、それを楽しみに登校できることを目指します。

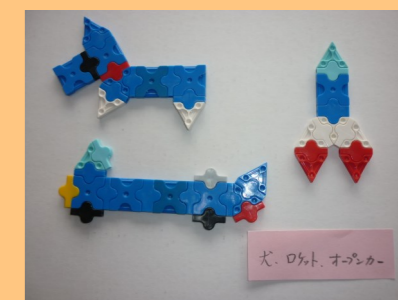
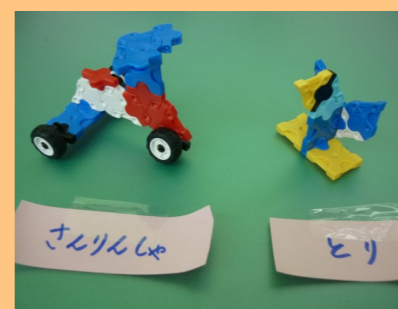
ストレスマネジメントの学習



自立活動：「自己認知」を促すゲーム
「手先や指先を使う活動」



興味を持って取り組める楽しい活動を用意しています。



病弱通級指導教室に通室

小学2年生。就学前から不登校。不安が高まると身体症状にあらわれる時期もありました。小学校に週1度登校しながら、本人が興味や関心を示す活動を中心に通室を続けました。好きなLaQやトランポリン、ブランコを楽しみに定期的に通室ができました。初めての活動でも「やってみよう」という意欲と「できた」という自信を積み上げていきました。通室を通して興味や人間関係が広がり、自己肯定感の高まりも見られるようになってきました。

本校通級指導教室で力をつけ、地域の小・中学校や適応指導教室で、学校生活が送れることをねらいとしています。

通級指導教室